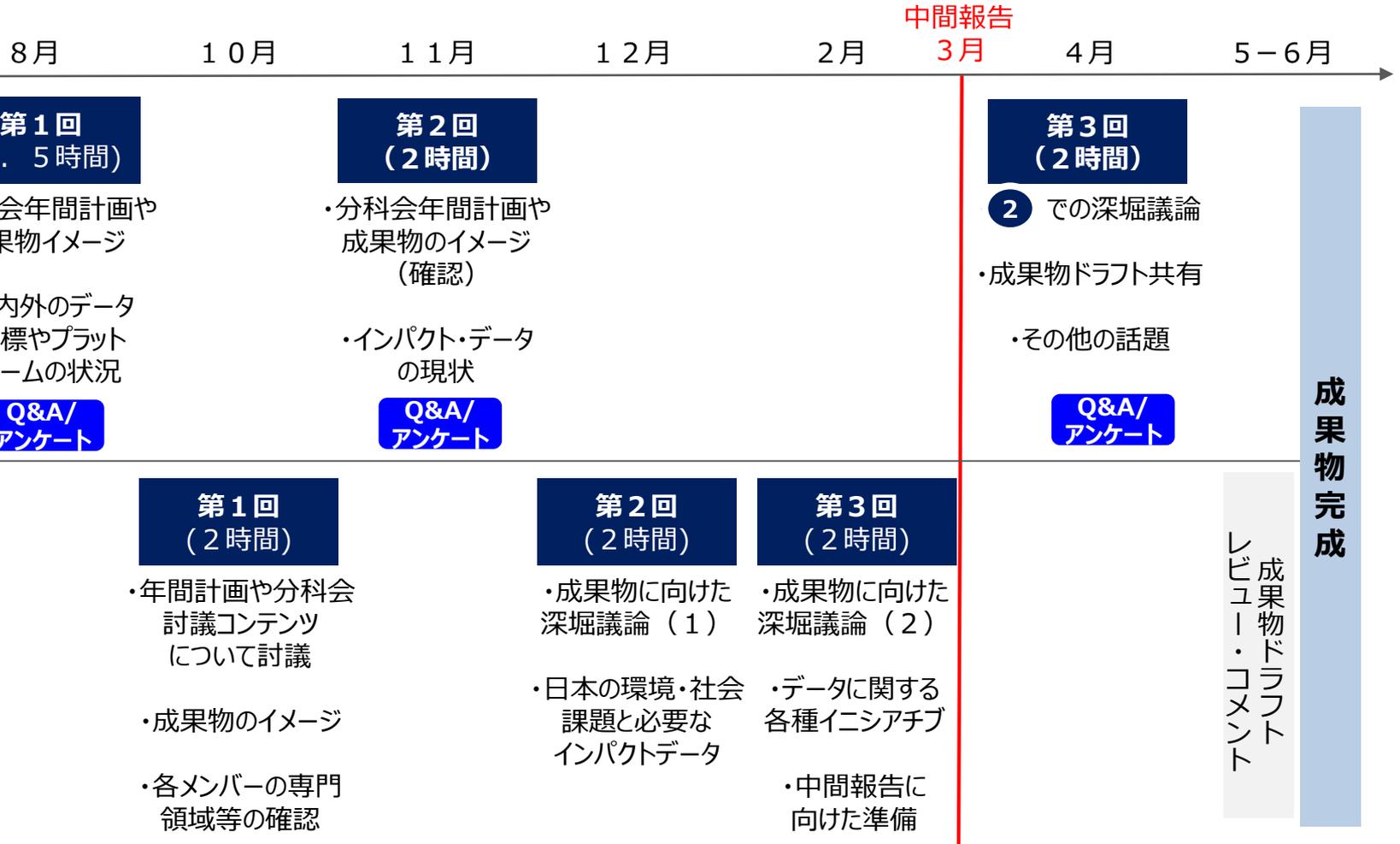

分科会の進め方

分科会座長 今田 克司氏

年間計画案

会議の種類

- 1 分科会…**メンバー**が関係者からのプレゼンで理解を深め、**現状や課題と方向性の共有**をする会。事後アンケート等を通して意見や知見を発信。
- 2 ディスカッションメンバー会…**ディスカッションメンバー**が現状や課題を深掘りし、**あるべき方向性の議論**をする会。**メンバーはオブザーバー参加可能**。



1. インパクト・マネジメントの意義

2. データ・指標の整備状況

- ・ インパクト投資に活用できる既存のデータベースの状況整理

3. 日本のインパクト投資に必要なデータ・指標の整理

- ・ 課題から見るデータ・指標の整理
（日本の地域固有の課題、日本の課題の種類、国際的にある程度共通の先進国特有課題）

4. 望ましいデータベースの基本的考え方

（イメージ）

- ・ 関係者のニーズを踏まえた投資家や企業のインパクト戦略・目標に紐づくインパクト指標の特定について
- ・ 特定されたインパクト指標に関連するデータの把握について
- ・ 海外のインパクト指標関連ツールへのアクセスについて
- ・ インパクト指標やデータに関する研究結果、ブログ、投資事例等へのアクセスについて

1

当分科会では幅広いメンバーと成果物を作成
→「相互理解・相互尊重」を前提

2

当分科会の成果物はインパクト・データベースの「コンセプトペーパー」
→実現可能性や方法論に入る前に、先ずは望ましいデータベースの
在り方・構想を議論

3

当分科会ではメンバーの意見をもとにディスカッションメンバーが議論
→分科会の各回につき「アンケート」を提出